

第6回サブオービタル飛行に関する官民協議会

スペースポートに関する国内外動向

一般社団法人Space Port Japan

Copyright © Space Port Japan. All Rights Reserved.

Space Port Japanの紹介

Space Port Japanについて

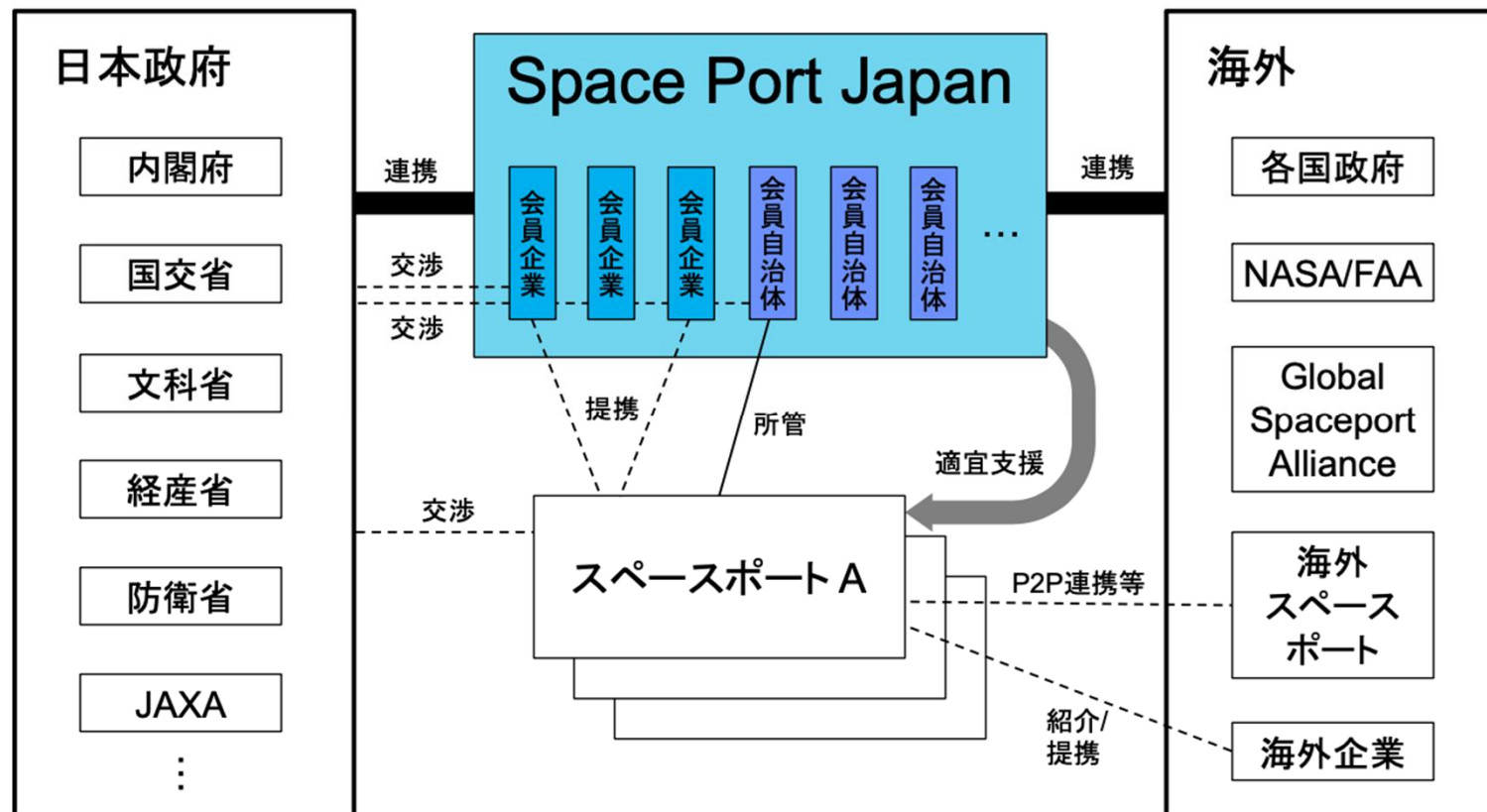
SPACE
PORT
JAPAN

- ・ 法人名：一般社団法人Space Port Japan
- ・ 設立：2018年7月
- ・ 目的：日本に複数のスペースポート（宇宙港）を開港することをもって
広く日本の宇宙関連産業を振興する。そして将来は日本製の有人
スペースプレーンが日本のスペースポートに就航することを目指す。
- ・ 主な活動：当法人が日本におけるスペースポートのハブとなる
 1. ビジネス機会の創出
 2. 政府機関との連携
 3. 国内外の関連企業および団体との情報交換および連携
 4. 情報発信、勉強会やイベントの開催 など
- ・ URL：www.spaceport-japan.org



Space Port Japanの役割

長期的な目線に立ち、ルール作りや政策作りに参加。各スペースポート、自治体、機体メーカー等が連携することで、動きを加速させる（海外連携は必須ではない）



国内外スペースポートの動向

国内のスペースポートについて

企業ロゴは抜粋

SPACE
PORT
JAPAN



北海道/大樹町



福島県/南相馬市



和歌山県/串本町



大分県/国東市



鹿児島県/南種子町



鹿児島県/肝付町



沖縄県/下地島



洋上打ち上げ

世界の主なスペースポートの検討・開発状況

イギリス
・英国内の7箇所で宇宙港を整備中/検討中
・ShetlandからOrbex/HyImpulse/RFA/ABL等が打ち上げを計画中
・Cornwall SpaceportからVirgin Orbitが打ち上げ

ノルウェー
・Andoyaにて2025年3月にIsarが打ち上げを実施

スウェーデン
・EsrangleにてFireFlyと韓国のPerigeeが打ち上げを計画中

デンマーク
・洋上打ち上げを計画中

イタリア
・Cryptaliae Spaceportを整備中

UAE
・検討中

アイルランド
・SUAS Aerospaceがスペースポートを整備中

ポルトガル
・検討中

直近のトレンド
・顧客ニーズに柔軟に対応すべく、複数の宇宙港を使うロケット企業が増えてきた
・政府施設の民間開放が世界中で進んでいる

オマーン
・整備中
・スペインのPLDが打ち上げを計画

ケニア
・検討中

インド
・政府が南部に第2のスペースポートを建設中。民間にも開放。

タイ
・韓国と宇宙港を検討中

韓国
・Naro射場近くに民間宇宙港を検討中
・済州島にてPerigeeが打ち上げを計画中

中国
・海南島に民間宇宙港「海南商業宇宙発射場」を政府が整備

日本
・JAXA施設2箇所に加え、民間/自治体主導のスペースポート6プロジェクトが進行中
・アジアのハブになるべく各国と連携強化中

オーストラリア
・豪州内の6箇所で宇宙港を整備中/検討中
・海外ロケットの誘致に積極的で、宇宙港大国を目指している

ニュージーランド
・Rocket LabのMahia射場
・Tāwhaki National Aerospace Centreを整備中

カナダ
・Maritime Launch Services社がSpaceport Nova Scotiaを整備中

アメリカ
・FAAライセンスを取得した宇宙港は14箇所
・軍施設や私有地などのFAA許認可外も複数

フランス領ギアナ
・ギアナ宇宙センターを民間開放

エクアドル
・検討中

ペルー
・検討中

ブラジル
・韓国のInnospaceが打ち上げ

まとめと要望

まとめと要望

1. スペースポートの競争は激化しており、日本としてもスピーディーな対応が必要。法整備の加速も急務
2. リスクを取って取り組んでいる事業者の支援拡大
3. 商業宇宙輸送に関わる政策・規制の国際調和、内需拡大につながる海外連携の支援
4. ロケット再使用も見据えたビジネス面や機体運用面での検討
5. 政府施設の民間開放についての検討